

平成26年度第2回新潟市男女平等教育推進研究会概要

1 日 時 平成27年2月4日（水） 15:00～16:30

2 場 所 新潟市役所白山浦庁舎1号棟2階会議室

3 出席者

(1) 委員（五十音順）

岩崎 正法	新潟市立亀田中学校	教諭
鈴木多恵子	新潟市立小合小学校	校長
竹内 滋之	新潟市立小針中学校	教諭
竹之内佳子	新潟市立金津中学校	校長
中島 伸子	新潟大学教育学部	准教授
西塚 朋子	新潟市立女池小学校	教諭
樋口 玲子	にいがた女性会議	委員
宮 蘭 衛	新潟大学教育学部	教授

(2) 事務局

津野庄一郎	学校支援課総括指導主事
齊藤 裕子	学校支援課指導主事

4 会議内容

(1) 開会 総括指導主事

平成26年11月26日の第1回会議で、委員の皆様方から男女平等教育にかかわる貴重なご意見や情報を頂戴し、男女平等教育の推進を本格的に進めていく手がかりができあがったと思っています。学習資料の活用状況や男女平等教育がどういった形で年間指導計画の中に位置付けられているか等について、今年度の集計をしているところです。第2次新潟市男女共同参画行動計画の評価指標に少しでも近づければと思っています。学校に届ける学習資料及び活用の手引は、お集まりの先生方のお力添えによって、年々充実した内容になってきています。学習資料等は作って終わりということではなく、学校現場の授業の中で活用され、あわせて保護者の方々への啓発にもつながっていくことが大事です。学習資料と活用の手引についてご審議いただき、次年度予定している研修会について忌憚のないご意見をいただければと思います。よろしくお願ひします。

(2) あいさつ 会長

今年度もあと2か月となりましたけれども、男女平等教育の推進のために、学習資料の改訂、来年度の計画の2点を中心に、限られた時間の中で、みんなで協議していただければと思います。

(3) 協議（委員の発言の要旨）

①「学習資料」の平成27年度配付に向けた改訂について

（小学校3年生用）

◇2 ページと3 ページに描かれている家族のイラストについて

- ・いろいろな家庭環境への配慮が必要である。
- ・家族構成をかえたかたちで、洗濯を干すところやごはんをつくっているところなど、何種類か違うものを載せる。
- ・いろいろな家族構成がある中の一つの例であるということを示す。具体的には、「お父さんとお母さんと子ども2人の4人家族の例」のような説明文を入れる。

◇2 ページと4 ページに登場する子どもたちと子どもたちの台詞について

- ・みち子という名前を現代風の「りな」という名前にかえる。
- ・「おかしいわ。」「へんだわ。」という言葉は「役割語」「女性言葉」なので、「おかしいな。」「へんだよ。」にかえる。
- ・「茶わん洗い」という言葉はあまり使われなくなっているので、「食器洗い」にかえる。

◇4 ページの上段のイラストにある吹き出しについて

- ・上段のイラストと下段の6人の子どもたちの台詞との関係がわかりにくいので、上段と下段に間隔をあけ、上段のイラストの下に「絵を見て気が付いたことを話し合しましょう。」という説明を入れるとよい。
- ・2人の子どもたちに吹き出しがついているが、指導のねらいに迫るため、別な遊びをしている子どもたちの台詞を考えさせた方がよい。
- ・この子と限定しないで、イラストを見て感じたことを話し合うことから、男女に偏って固定した見方をしていることに気付かせた方がよい。

（小学校6年生用）

◇2 ページのたくやさんの台詞について

- ・「男女平等なのに」という言葉が唐突なので、「男だからって決めつけるなよ。」等の言葉にかえるとよい。
- ・「みんなで協力すればいいのに」とか「みんなで一緒にやればいいのに」という言葉にする。
- ・男女が仲良く協力するとか助け合うことを理解させるのがねらいなので、「協力」とか「一緒に」という言葉を出してしまうと子どもたちが考えなくなるので、「何でそんなことを言うんだ。」だけにする。

◇3 ページのお父さんの台詞について

- ・「今日は時間があるから」という言葉が気になる。時間があるときだけなのかと思ってしまうので、「今日は時間があるから」という言葉をとった方がよい。

◇4 ページ「わたしのゆめ」で紹介している人について

- ・掲載してから年数が経ってきているので、近況について確認し、更新が必要であれば更新する。

◇4 ページ「男の人だけだと思っていた仕事」について

- ・交通指導員の仕事がイメージしにくいので、「バスやトラックの運転手・整備士」とする。

(中学校2年生用)

◇2 ページ「自分らしい生き方を選んだ人々！」について

- ・掲載してから年数が経ってきているので、近況について確認し、更新が必要であれば更新する。
- ・中学校のキャリア教育の職場体験と関連させていろいろな職業の人を紹介する方法もある。区ごとに順番に担当するなどの体制を作り、生徒にとって身近な職業の人を取り上げることができる。但し、男女平等教育のねらいからずれないように注意していく必要がある。

◇2 ページのイラストについて

- ・イラストの服装が生徒の実態に合わないので、イラストをなくし、生徒が自分の考えを書く欄を広くする。

◇3 ページ「育児期にある夫の1日の育児、家事時間の国際比較」について

- ・アメリカについては、直近のデータがあるので、数値を新しいものにする。

◇4 ページ「性別役割分担意識を国際的に比較してみると？」について

- ・グラフは古いですが、直近のデータである。男性の育児休業取得率のグラフにかえるという考え方もあるが、国際比較が大切なので、このグラフを継続して使用する。
- ・「近年では短時間ですが、男性が育児休業を取り、家庭に入る人もいます。」という部分を、「近年では、男性で育児休業を取る人もいます。」という表現にする。

②平成27年度に計画している教員を対象とした研修会の実施について

(事務局提案)

前回の協議を受け、まずは教える立場が男女平等教育について共同参画の理解を深め、年間指導計画に位置付けた資料の活用・保護者への啓発・校内推進体制づくり等について研修をしてもらい、自校における男女平等教育の推進を図ることを目的としている。

- ・日時 平成27年12月15日(火) 午後2時～4時30分
- ・会場 秋葉区文化会館
- ・対象 小学校・中学校・中等教育学校・特別支援学校の男女平等教育担当者
各校1名、合計約170名

- ・内容 新潟市男女共同参画行動計画についての説明 男女共同参画課
男女共同参画に関する理解を深める講演
実践発表 小学校・中学校 各1実践
 - 小学校案 各教科領域等と関連付けた男女平等教育の推進
学習参観日等を活用した保護者への啓発等の実践例の紹介
 - 中学校案 道徳教育・キャリア教育・進路指導等と関連させた学習資料
の活用, 保護者への啓発や情報提供
- グループワーク 校種別3人程度のグループでの情報交換 (学習資料の活用・年間指導計画への位置付け・保護者への啓発等)

◇講演会の講師について

- ・新潟市内の方, 新潟大学の先生等に依頼する。

◇実践発表者について

- ・当研究会が推進していることをよく理解していただける方に依頼する。委員で校種別に相談し, 実践発表の候補者を事務局に伝える。

◇平成27年度の研究会について

- ・12月に研修会を行うので, 1回目の研究会を今年度よりも早い時期に開催する。